



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 家族をやさしく包み込む家

特集 その後どのように暮らしていますか？

# 家族をやさしく包み込む家

東京都小金井市 | Hugハウス(木造一戸建て) | O邸(ご夫婦+お子様)



## 1 ストーリー

緑に囲まれた遊歩道沿いに建つ、3つの切妻屋根が重なった可愛らしい外観の家「Hugハウス」。こちらに暮らしはじめてから1年半ほど経つ、3人家族のO様のお住まいを訪ねました。

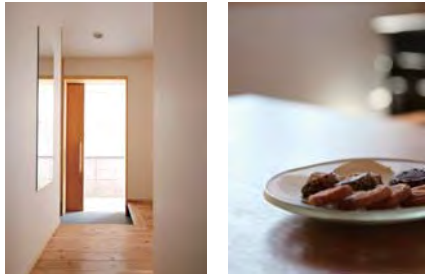
以前は、小金井市の駅前の小さなマンションにご夫婦2人で暮らしていましたが、子どもが生まれたことをきっかけに家づくりを考えはじめたそうです。「ある日、新聞を読んでいたら広告欄の家の写真に目とまって"同じ市内にこんな素敵なおうちをつくっている人がいたんだ!"って衝撃を受けたのをおぼえています。そのあと、設計者の方と直接会ってお話させていただきました」。それが、建築家の島田貴史さんとのO様の最初の出会いだったといいます。「家のデザインはもちろん、島田さん自身がとても素敵なお方でした。お人柄の良さが設計にも現れているような……そんな魅力を感じました」。





## 2

### 家族と過ごす時間を楽しむ



家の中に飾られている  
ドイツやスイスなどの  
ヨーロッパの雑貨や木  
のおもちゃ。

可愛い木の  
おもちゃがお出迎え♪



外の景色が眺められる2階リビング

みんなでゆっくり楽しい時間を過ごすO様ご家族

O様の暮らしの中心となっている2階リビング。家づくりのプランを考える際に「まわりの環境や日当たりを考えてリビングは2階へ」という島田さんの提案から実現されました。夏は窓を開けると風が流れて涼しく過ごせ、冬は日当たりが良いので暖かく、一年を通して居心地の良い場

所です。寒い朝にはペレットストーブのゆらめく炎を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごすこともあります。また、バルコニーからの眺めもとてもよく、こちらも家族のお気に入りのスペース。「バルコニーで水遊びができるように壁に蛇口をつけてもらったんですよ」とO様。実際に

夏にはプールや線香花火を楽しんだり、七輪でサンマを焼いたりすることもあるのだそう。「普段は共働きなので家にいる時間が少ないですが、休日は朝起きて子どもと遊んだり、家でくつろいだり……。新しい暮らしがはじまってから、家で過ごす時間がとても増えましたよ」。





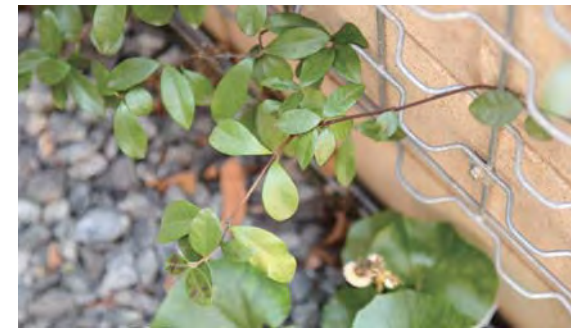
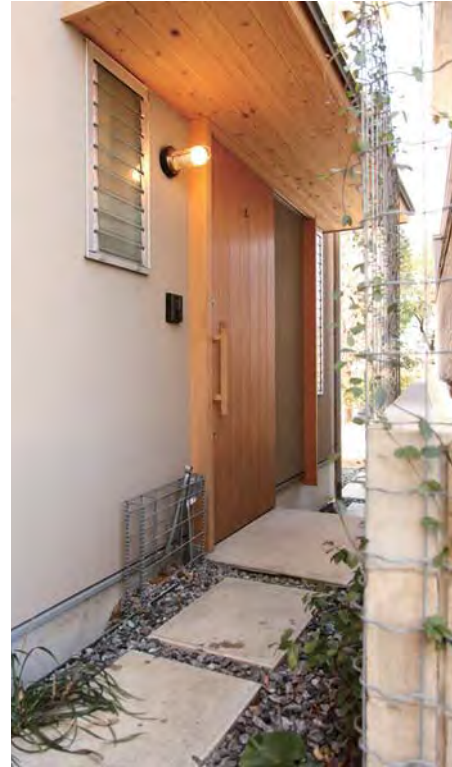
1.籠り感のあるスタディスペース / 2.ペレットストーブ燃料 / 3.回遊性のあるキッチン / 4.ペレットストーブの前で本を読む親子 / 5.秘密基地のような小屋裏スペース

### 3 居心地の良い場所

Hugハウスは延床面積19坪ほどのコンパクトな家です。2階リビングを中心とした一つの空間の中に、スタディスペース、和室、キッチン……と様々な居場所があります。それぞれの部屋がつながっていて、どこにいても家族の気配を感じつつ、ほどよく落ち着いた籠り感。なんだかほっとするような住まいです。

### 4 玄関へと続く 緑のアプローチ

趣のある玄関へと続く素敵なアプローチ。金網でつくったカゴに植物を植えたり、傘立てや蛇口を取り付けたり、面白いアイデアがたくさんちりばめられていました。これから年月を重ね、家族とともにゆっくりと植栽の成長を見守れることも、日々の楽しみの一つとなりそうです。



造園: 5×緑(GOBAIMIDORI)  
<http://www.5baimidori.com/index.html>

### 取材後記

2階リビングの居心地が良く、「家にいる時間が増えました」というO様の言葉にとっても納得しました! 普段忙しい中でも、ほっと一息できる場所があるだけで気持ちも落ち着きます。あらためて、家って暮らしの大事な一部なのだあとしみじみ感じました。(記: 広報 吉川)



設計: しまだ設計室(島田貴史) ホームページはこちら→<http://kazunoki.com/>  
撮影取材: 伊藤・吉川 ainoha/バックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>

特集 その後どのように暮らしていますか？

## 薪ストーブのある暮らし







特集 その後どのように暮らしていますか？

## 薪ストーブのある暮らし

埼玉県ふじみ野市 | 遠藤邸(ご夫婦+お子様3人) | 木造一戸建て

# 1

## 家づくりストーリー

～家を建てようと思います～

私の住んでいる家は祖父が45年ほど前に建てた家です。小学2年生の夏、祖父母の住むこの家に引っ越してきました。両親と弟と私、合わせて6人の暮らしが始まりました。私の幼少期の記憶にはずっとこの家があります。いろいろな思い出が詰まったとてもほっとする空間です。

でも、そろそろ不具合も多くなってきています。家が傾いていたたり、設備類の交換の頻度も上がってきたり、子たちのスペースがなかったり。夏は焼けた屋根瓦の熱気が暑く、冬は外気と同じくらいまで冷えてしまう。灯油を週に3缶も消費してしまうのに、納戸のビールは冷蔵庫より冷えている。それでも絶対的な安心感があること、それと背負っている歴史の大きさに対する畏敬の念から建替えることを進めることはありませんでした。しかし、構造的な不安を目の当たりにしている今、この家を建替える決断をしました。古き良きものへの想いを忘れずに、今いる家族のために計画を進めていきます。

遠藤のブログ「my家 your家」2011年6月より抜粋  
(<http://aibaendo.exblog.jp>)

今回は家を建替えて2年が経過した、相羽建設営業部、遠藤の自宅「ミズニワハウス」をご紹介します。

2004年から綴られている彼のブログ「my家 your家」を覗くと、以前の家での楽しい暮らしぶりや愛着が伝わってきます。

彼は、2011年の東日本大震災をきっかけに建替えを考えはじめたそうです。

新居には、以前の家の気持ちの良いスペースが受け継がれるとともに、家族で楽しむ要素がたくさん詰め込まれ、世界に二つとないこだわりの家づくりになりました。



## 2

### たくさんの出会いをつめこんで

建築士の資格も持っている彼ですが、自分の家となると、客観的に設計するのは難しいと考えました。そこで相羽建設とつながる建築家、しまだ設計室の島田さんに依頼することに。

この家の1番のみどころは、陽がたっぷり入る吹き抜けのダイニングスペース。その傍らに薪ストーブ、揺れるカーテンの先には水庭が広がります。将来、南側の隣地に建物が迫っても心地よさが確保できるよう、窓の配置に少し角度がつけてあります。また、キッチンにはアイアン素材のカウンター天板と手元の目隠し。定期的なオイルでのメンテナンスで、素材の深い味わいが増していきます。

多くのお客様と出会い、家づくりをサポートしてきた遠藤。自らの家では、これまでの仕事で知り得た、こだわりの材料や製品がたくさん使用されています。また、今後のお客さまの住まいにも活かせるよう、新しい材料や実験的な試みも盛り込まれた、みどころ満載の家づくりになっています。



ミズノハハウス 設計:しまだ設計室 島田貴史



ダイニングチェア…karf

テーブル…laboratory

薪ストーブ…  
バーモンドキャスティング社/アンコール(レッド)

家族の趣味、バイクレース(MotoGP)。家の至る所にグッズや写真が並んでいます。



カウンター目隠し  
…OZAMETALSTUDIO



ガルバリウム鋼板の外壁と外灯、OZAMETALSTUDIOさんの表札が似合います。



### 3 住まいの見どころ紹介



手慣れた様子で薪割り

#### ▲ 薪ストーブを楽しむ

「お客さまの家で実際に見て魅力にハマった」という薪ストーブ。子どもたちが森で集めてきた松ぼっくりを着火剤にして火を点け、温度が上がってくると、ストーブ本体の赤い色が濃く変化します。「ピザ・焼きリンゴ・ホイール焼、おでんの保温で使ったりもできますよ」と奥さま。薪ストーブのある生活になり、薪割りは男の趣味のひとつに。庭に設置した薪棚には3年先に使う薪まで乾燥されながら出番を待っています。



ホカホカ！

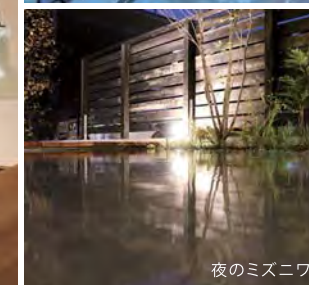
薪ストーブで焼き芋も！

#### ミズニワ ▶

「ミズニワハウス」という名前の由来はこちら。敷地の南西角に設けられた水盤。水の揺らめきが反射してダイニングの天井に映り込む様はととても贅沢です。夏はデッキとミズニワでBBQやお酒を楽しんだり、水を張った水盤に足を入れればひんやり夕涼みもできます。



作家・永島義教さんによる銅製の吐水口



夜のミズニワ

#### ◀ 洗面浴室



洗面浴室撮影：西川公朗

男女のお子さんのいる遠藤家では、洗面室と脱衣室を分けて計画。廊下に面した洗面室は3人並んで支度ができる広いスペース。浴室は相羽建設の施工ではめずらしい珪瑯の浴槽と十和田石を採用した、まさに温泉宿のような仕上がり。「OMソーラーの効果が及ばないくらいだから、冬場は足元が寒いけどね…」と。

#### 取材後記

今回の特集だけでは伝えきれない程、見どころがたくさん詰まった家。新たな家での生活も思い切り楽しんでいる遠藤は、担当のお客様を自宅に招くこともしばしば。「興味ある方はいつでもご案内しますよ!」とのこと。ブログ『my家your家』の 카테고리『my家づくり』でも熱い想い、暮らしを楽しむ様子を覗くことが出来ます。(記: 広報 河野)



設計：しまだ設計室 → <http://kazunoki.com/>

取材：河野・吉川 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>







—特集—

家も家族もあたたかくなる Hidamariハウス



## 家も家族もあたたかくなる Hidamariハウス

よく晴れた冬の朝、M様のお家へ取材に伺いました。2階リビングに上がった時に最初に目に飛び込んできたのは、大きな窓と、そこから入ってくる暖かい日の光。そして大きく包み込むような陽だまり！

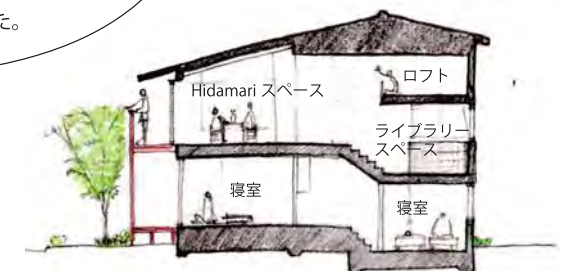
もともとマンションにお住まいで、統一感や心地よさのある家を探していたM様。見学会にてしまだ設計室の島田さんに出会い、家づくりをお願いすること。「島田さんはとても人柄の良い方なんです。」とM様。家族みんなが集まる2階リビングは、日当たりがとてもよく、夏は風通しも良い場所です。島田さんの細やかな設計と、心遣いがあるからこそその空間なんです。 「住みやすくて、とても気に入っています。」とM様もとても笑顔でした。



設計：島田貴史  
しまだ設計室

建て主さんと家族とお話する中で、「ちょうどいい家族の距離感」ってどんな感じかな・・・ということを考えました。

Hidamariハウス







2階リビング

## 家族みんなのホットとする場所

家族みんなが集まる2階リビング。陽だまりのスペースはお父様もお気に入りの場所。床材が杉で柔らかいので、直に床に座って気持ち良さそうに新聞を読んでいるそうです。夜は家族4人そろって夕食タイム。ペレットストーブで朝も夜も暖かく過ごせます。



陽だまりスペース

### ペレットストーブ

なんと実際に電源を入れて見せて頂けるの！  
ドキドキ...



この燃料を入れて



電源を入れるだけ



火がこんなに目に見えるんですね！  
部屋全体がすぐに暖まりました。



奥様

タイマー設定もできてとても便利なんですよ〜！



## スキップフロア

1階と2階の間に設けられたスキップフロアは、それぞれの空間をゆるやかに繋いでいます。どの部屋にいても、家族が一緒にいるような安心感がありました。ここでは、みんなのライブラリースペースになっています。



息子さんお気に入りスペース。いつもここで、くつろいでいるみたいです♪



奥は子ども部屋 →



## アプローチ

アプローチを手掛けたのは『秋津園芸』さん。植栽含め、敷石の配置なども全部おまかせしました。いろいろな種類の植物がちよこんと並んでいて、玄関までの道のりが楽しくなります！



### 取材後記

Hidamariハウスには夏と冬にお伺いさせていただいたのですが、季節が変わっても2階リビングの居心地の良さは変わりませんでした！お話を聞く中で、ご家族の仲の良さもたくさん伝わってきて、なんだか嬉しい気持ちでいっぱいになりました♪取材させていただきありがとうございます。

しまだ設計室 <http://kazunoki.com/>

文/広報 吉川



- 特集 (P.2-5)  
「ヒノデハウス」  
薪ストーブのある暮らし
- 東京楽しい暮らしぶり展 (P.6)
- あいばこ通信 (P.7)
- 「薪ストーブのある暮らし」  
モデルハウスオープン (P.8-10)
- 住まい手さんの家  
バス見学会 (P.11)
- いちおし!リレー (P.12)
- ainohaのあるお店 (P.13)
- information (P.14-15)

その後  
どのように  
暮らして  
ますか?  
薪ストーブ  
のある暮らし

## もうファンヒーターにはもどれない!

薪ストーブの特集ということで取材をお願いさせていただいた  
I様。うかがってすぐに聞いた言葉は『灰とか大変だよ』という言  
葉でした! ?もしや、実は大変であまり使われていないのかしら?  
と一瞬びっくりしてしまいましたが、お話をうかがっていると、  
やっぱり違いました。薪ストーブの心地よさを一度知ってしまう  
と、もうファンヒーターには戻れない。少くらい大変でも、受け  
る恩恵の方が大きいからむしろ焚きたい。毎年冬に向かう季節  
になるといつ火をいれようかと、そわそわしてしまう!というお話  
に、やっぱり薪ストーブってすごい!みんな虜!と思ったのです。

娘さんがストーブに近づきすぎてしまうことはありませんか?と  
おたずねしてみたのですが、薪ストーブの周りのタイルのところ  
には入らないそうです。入ってはいけないことを教えたら、きち  
んと理解して大丈夫だったそうです。きっと感覚で熱いことを感  
じてもいるから近寄りすぎないのでしょうね。けれど、最近では元  
気いっぱい、たまにタイルの端っこを横切ってしまうことがある  
のだとか。笑

吹抜けと大きな窓のある贅沢な眺めの居間(右写真)には木製  
の建具や板張りの天井、広めのデッキもあります。この広い空間  
が実現できるのもまた、薪ストーブの恩恵の1つですよ!





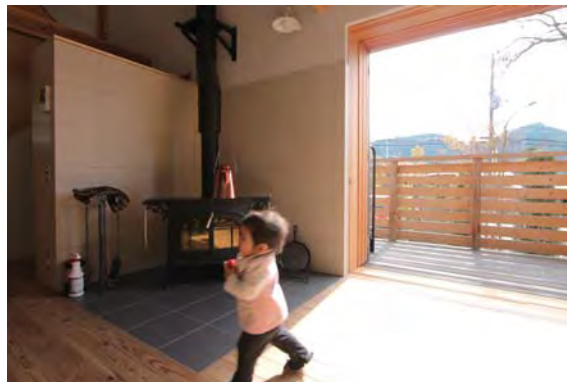


様のご自宅にある薪ストーブはバーモントキャストイングス社のアンコールという種類。大きな機種なので炉内も広く、大きな薪そのまま入ります。夜寝る前に大きな薪が入るのが、暖かさが長く続いていいそうです。

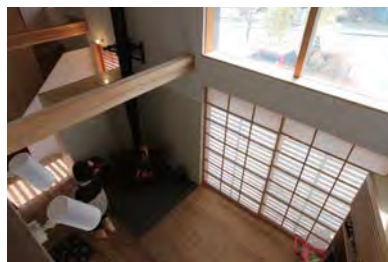
また、炉内が広いのでお料理にも大活躍!ストーブの設置をお願いしたファイヤーライフで、エノキとバターのホイル焼きというシンプルなのにとってもおいしい料理を食べた時は感激した!と奥さま。カレーもおもちもどんな料理も薪ストーブにまかせると美味しくなる!気がするそう。特に美味しいのはやっぱりピザなんだそう。取材の日には焼きリンゴをいただきました!



お庭には、ご主人お手製の薪置き場が何箇所もありました。薪置き場の屋根にもきちんと勾配がついていて、雨や霜から薪を守る仕組みもばっちりです。乾燥した薪のほうが煙も出にくいので少しの屋根でも意味があるのだそう。



ヒノデハウスに魅力を加えているもうひとつの仕掛けに、木製の建具があります。薪ストーブの横の掃き出し窓は開けるとすっきりと壁のほうに納めることができ、デッキとつながることができます。



2階から居間を撮影した写真。OMソーラーと薪ストーブがあるおかげで大きな吹き抜けと大きな窓がある空間も寒くない。



(上左) 破れちゃった障子も思い出かな♪ (上右) 木製の玄関扉の他に網戸の張ってある木の横棧の扉があるので夏には風が抜けて、これもまた気持ちよさそう!



OMソーラーのタッチパネルで、外気や室内の温度を朝晩チェックするのがご主人の日課でもあり楽しみでもあると、取材時にもパネルを見ながらお話してくださいました。

寒さが苦手だから暖かい家に住みたかったとお話される奥さま。薪を調達しに行くのが少し大変ですが、とお話されながらも薪ストーブのある暮らしをごく自然に取り入れているご夫婦に、本当に豊かで素敵な暮らしだなあと感じて帰ってきたのでした。

(文/ 総務 釘宮)



ヒノデハウス(設計:しまだ設計室)の施工例は相羽建設ホームページでご紹介中です。9024:しまだ設計室「ヒノデハウス」

ご紹介しきれなかった取材の内容はブログ「ainoha」でご紹介しています <http://ameblo.jp/ainohablog/>